

## H 2 0 千葉県中学校総合体育大会 バスケットボール競技 総評

千葉県中学校総合体育大会 バスケットボール競技は7月28日から30日までの3日間、船橋市総合体育館をメイン会場に熱戦が繰り広げられた。男子の準決勝は第1シードの習志野五中(習志野)対八街中(印旛)、第2シードの大和田中(八千代)対ノーシードながら大型センターを中心に快進撃を見せた銚子七中(東総)の対戦となった。ともに好ゲームが展開されたが、新人・春の覇者である習志野五中と、決勝戦のリベンジを狙う大和田中が勝ち上がった。長身選手の迫力あるプレーの銚子七中、高い運動能力を武器にスピーディーなバスケットを展開した八街中、ともに破れはしたが素晴らしい好チームであった。決勝戦は、立ち上がりこそ高い運動能力を武器に、大和田中がなんとかくらくらいついていくが、第3ピリオドから習志野五中が勝負を仕掛け、激しいディフェンスからの速攻などで連続得点をあげ、一気に大和田中を振り切った。習志野五中は新人戦、選手権、総体の3冠を達成し、26年ぶり2回目の優勝を飾った。両チーム共に走れる大型チームであり、全国出場をかけた関東大会での活躍が期待される。

女子はベスト4に市川・浦安支部のチームが3チーム勝ち上がり、春の選手権大会同様に激戦が繰り広げられた。準決勝は第1シードで堅実なプレーの昭和学院中(市川・浦安)対、高い個人技能を持つ葛飾中(船橋)、もう一試合は第2シード、第3シードである市川勢対決の東国分中(市川・浦安)対市川四中(市川・浦安)の対戦になった。激しい試合となったが決勝進出を決めたのは、昭和学院中と市川四中であった。残念であったが、一人一人のスキルの高い葛飾中、圧倒的なオフェンス力で勝ち上がった東国分中もファイナル4にふさわしいチームであった。続く決勝戦は出だしから一進一退の攻防がくり広げられ、再延長にまでもつれる好ゲームとなったが、勝負所でシュートを確実に決めた昭和学院中が2年連続9回目の優勝を飾り、こちらも3冠を達成した。敗れはしたが、最後まで粘りをみせた市川四中の頑張り、会場を大いに盛り上げた。

男女ともに総体の上位4校は、8月7日から船橋市総合体育館で開催される関東大会に出場し、全国大会出場を目指す。8月1日に組合せ会議が行われるので、詳細は決まり次第、千葉県バスケットボール協会のホームページに掲載します。

文責 千葉県小中体連バスケットボール専門部  
副委員長 山口健一(鴨川中)

### 年間ランキング (H19 新人戦 ~ H20 総体)

	(男子)	(女子)
第1位	習志野市立第五中学校	昭和学院中学校
第2位	八千代市立大和田中学校	市川市立東国分中学校
第3位	八街市立八街中学校	市川市立第四中学校
第4位	市川市立下貝塚中学校	船橋市立船橋中学校

### H 1 9 千葉県県選抜選手 (県総体の閉会式で表彰がありました)

(男子)		(女子)	
小松雅輝(習志野五)	江原悠佑(習志野五)	藤岡麻奈美(市川四)	茂木依里奈(辰巳台)
入江浩平(習志野台)	石井竜也(習志野五)	余郷美奈(昭和学院)	川本彩織(葛飾)
當麻純平(君津)	柳本真之(畑沢)	関根彩乃(昭和学院)	坪田紗季(土気南)
穴倉光(若葉)	長谷川慧(椿森)	村山翠(二宮)	三好南穂(東国分)
西鶴大輔(習志野五)	古牧昌也(八街中央)	木内里紗子(中原)	辻本みどり(船橋)
渡部史鏡(八街)	中島健太(銚子七)	ヌンイラ玲美(宮本)	小出沙樹(市川四)